



『鬼は外!
福は内!』

子どもたちの元気いっぱいの
豆まきで「泣き虫鬼」や「わがまま鬼」を
退治しました
2月3日節分 泉保育所豆まき会より

広報 たまかわ

2
2011

<http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp>

No.534

祝 成人
おめでとう
ございます

”新成人86名が 晴れて大人の仲間入り“

平成23年成人式

平成23年成人式が1月9日(日)、中のマールヴェラス末広で開かれました。

今年の新成人者は、平成22年4月2日から平成3年4月1日まで生まれた男性47人、女性39人、合わせて86人です。

艶やかな振り袖や羽織袴、真新しいスーツなどに身を包んだ新成人が会場に集まると、久しぶりの級友らとの再会に、あちらこちらで歓声が上がっていました。

式典では、はじめに出席者全員で『君が代』を斉唱したあと、石森村長が式辞を、野本政雪教育委員長があいさつを述べました。続いて、新成人一人ひとり名前が読み上げられ、代表で円谷俊

一さん(南須釜)に、成人証書と記念品が村長から交付されました。来賓の増子輝彦参議院議員、須藤利夫村議会議員、関根正村選挙管理委員会職務代理者がお祝いのことを贈り、最後に新成人者を代表して鈴木文進さん(川辺)が謝辞を述べました。

式終了後には、新成人10人で構成された成人式実行委員会が企画・運営した『20歳の祝賀パーティー』が同会場で行われ、厳粛な成人式から一転、華やかなパーティーで昔話に花を咲かせていました。

■新成人の中から次の6名の方から『二十歳の感想文』が寄せられましたので、ご紹介します。



大竹恵里香さん
【岩法寺】

『はたちを 迎えて』

小学生の頃は“はたち”と聞くと、ものすごく大人だというイメージを抱いていました。大人になったらお酒が飲めるし、学校に行かなくても良いし、自分の好きなものが何でも買えるし・・・とにかく大人になったら自由に何でも出来るのだろうなという考え方を持っていた気がします。早く大人になりたいと思っていました。

しかし、実際に二十歳を迎えた現在、小学生の頃に自分が抱いていた“はたち”のイメージとは大分違っているなど実感しています。学校にも通っているし、バイトをしているとはいえ金銭面などにおいてもまだまだ両親に頼っている部分がたくさんあります。実家暮らしということもあり、甘えてしまっている部分もあると思います。これからは“はたち”という自覚を持ち、日常生活の中でも意識をしながら行動することが出来るようになれたらよいなと思います。

自分の将来についても、考えなければいけないなと思っています。私は今、看護学校に通っています。看護師になるのは小さい頃からの夢でした。授業を受けたり、臨地実習を行っていくうちに、自分が理想とする看護師像というものが少しずつ見えてきたような気がします。又、自分が興味のある分野もいくつか出てきました。それらを踏まえ残り一年の学校生活を実のあるものとして、今後の進路決定に役立てていきたいです。

今までは、「まだ未成年だから」や「学生だから」といった理由で許されてきた部分が沢山あったと思います。しかし、これからは成人という立場で物事を考え、行動していかなければいけません。責任のある行動や場をわきまえた言動ができる大人、他人に迷惑をかけないように常識のある大人を目指していきたいです。また、家族やお世話になった方々に少しずつ恩返しが出来ればと思います。



代表で石森村長より成人証書を受ける円谷さん(左)



大竹香澄さん
【岩法寺】

『成人式を 迎えて』

小学生の時に「二十歳になった自分への手紙」を書くという授業がありました。その時は、遠い未来の自分を想像することが楽しくワクワクしながら書いていたのを覚えています。

そして今、無事に成人式を迎えることができ、嬉しさと共に、小学生の頃に想像した自分がここに居ることによって時間の流れの速さを実感しています。

二十歳になり、社会の一員としてマナーやルールを守り、厳しさの中にある自由を感じれるように自分自身の行動に責任を持ちながら生活していきたいと思っています。

また、今の私があるのは、家族や親戚、仲間や友達、大切な人などたくさんの方の支えがあってこそだと思います。普段は恥ずかしくて言えないけど、何気ない日々毎日感謝しています。ありがとうございます。

次は私が誰かを支えていけるような社会の一員になっていきたいと思っています。



代表で謝辞を述べる鈴木さん



石森千晶さん
【山小屋】

『はたちの感想』

あっという間に二十歳になりました。これからは言葉遣いに気をつけたいです。二十歳になるので、大人らしくなるために努力をしたいです。私は、今まで以上にちゃんとしなければいけないと思っています。これから少しずつ忙しくなっていきます。自分で考えて行動もとらなければなりません。これからは自分の人生のことなので、自分で決めて生きていきたいです。

自分ではまだまだ子供のような気持ちでいますが、周りのひとに「もう、二十歳なんだね。」と言われると、あらためてびっくりします。私には夢があります。夢のためにがんばります。

ここまで、大きくなれたのは親のおかげです。大変感謝しています。

私は大人の仲間入りをするにあたり、まず言葉遣いに気をつけたいと思います。自分のことは自分でできるようにします。

成人式をむかえ、大人らしくなれるよう努力をしていきたいと思っています。

ついこの間まで、先生方にお世話になって、色々なことを覚えることができました。その頃のことをすごく懐かしい気がします。時々そのことを思い出したりしています。



大野仁美さん
【南須釜】

『はたちになった自分』

私は、はたちになってここまで育ててくれた両親に感謝します。本当にありがとう。これから大人になろうとしています。現在は介護の仕事をして頑張っています。

高校時代に、求人票があまりなくて、受けても落ちる一方でした。ある仕事に出会ったのです。それは介護の仕事です。ヘルパー二級も取り、色々な面で役立つ仕事をして、この介護の仕事を目指しました。

介護の仕事は、とても大変です。仕事を覚えるのも苦労しました。徐々に仕事を覚え、上手に仕事ができるようになりました。色々なことで「チャレンジ」をしていきたいと思っています。

この二十年間色々楽しかったこと、時には辛いときもありました。もう、二十歳になるんだなと時間の流れを早く感じます。高校時代が楽しかったと思います。みんなで、笑ったり、泣いたり、騒いだりして楽しく感じました。二十歳になると遊ぶ暇もなく、仕事で大変になってきます。成長するのは早いものですが、十代に戻りたいとも思っています。

これからは、色々な人との出会いもあります。自分なりの人生を生き、また両親にお世話になりますが私がいつか結婚できるまでは見守ってください。最後になりましたがおっちょこちょいな娘ですが、よろしく願いいたします。



西島裕太さん
【竜崎】

『二十歳の決意』

吐息が白く輝くこの季節でも、我々はラップで起床後、上半身裸で外へと点呼に向かう。

ここは自衛官の幹部を育成する防衛省直轄機関、防衛大学校である。

今ここに私を立たせているのは、イラクで人道復興支援活動をされていた自衛官の熱い眼差し、そして彼らの笑顔である。

そこには人種や宗教を超えた『人の愛』が確かに存在していた。私は隊員の任務に心を打たれた。もし、玉川村で災害が起こった時、自分を育ててくれたこの村のために私にはなにができるのだろう…。苦しんでいる人達を目の前にして、手を差し伸べることができるのだろうか…。私が大切に想う村の人たちを守ることは出来るのだろうか…。そう考えた時、私は自分の無力さを痛感した。今ここに立っているのは、大切な人達を守ることが出来る力が欲しいと思ったからである。

まだまだ私は修行中であり、一人前になるまで時間がかかるだろう。しかし将来、誰かに頼りにされる存在になる為、大切な人たちを守る力・知識を身に付ける為、これから更にこの道に精進する。

そして進学、進路決定に際し、全力で応援してくれ、今まで私を想ってくれる家族には感謝しきれない。後生、職務を全うすることで私は応援してくれた方々に感謝の気持ちを伝えていきたい。そして、その人達から必要とされるだけの能力をもてるように、日々訓練に全力で挑んでいく。

二十歳の今、まだ浅く、幼稚で理想ばかりを口に出しているような感覚もある。しかしこれから年を重ねるごとに、今抱いている理想を現実のものへと近づけていけるよう努力する。

所詮二十歳。まだまだ若く、浅い。しかしながら、今後多くの方々からご指導を賜り、『より深く、太く成長していきたい。』と新たに決意した希望を持っている二十歳でもある。



草野有香さん
【竜崎】

『夢に向かって』

私は今、将来の夢である看護師になるため二年前に玉川村を離れ、横浜の看護専門学校に入学しました。夢で描いていた思いと現実の違いは看護師の道は厳しいことを実習や授業を通して知りました。

二年生の実習では、自分の未熟さを突きつけられました。また白衣を着て臨床の現場で自覚と責任の足りなさを感じました。幾度の壁にぶつかる度に、「自分は看護師に向いているのだろうか」、「看護師になれるのか」と自信を失いながら、また自分に問いかけながら日々を過ごしていき不安な気持ちが大きくなり、看護師になる道を辞めようか悩みました。そのとき、離れている家族、友人に、幾度なく支えられてきました。下手で多くは語らずいつも私たち家族を支えてくれる父、いつも相談ののってもらいアドバイスをくれ良き理解者の母、私の悩みを聞き共感し優しく言葉をかけてくれる姉、昔はよく喧嘩をしたけど今は同じ医療系の道を進み私の話相手の兄、地元に戻るといつも温かく迎えてくれる友人。今思うと私はとても恵まれた環境の中で生活を送っていたのだと気づきました。たくさんの方々に支えられ、不安で揺れ動いていた思い吹っ切れました。自分がなぜ看護師を目指しているのかを二十歳を迎え、夢の再確認をして前より自覚と責任を持ち臨床の現場で実習し学んでいくことを決意しました。その時は患者様の思いを傾聴、共感し、知識をつけ寄り添う看護を行っていきたくと思います。

私は今、子どもから大人が変わるとき、夢に向かって一歩ずつ近づいてきています。また途中でくじけそうになっても、家族、友達たくさんの方々に支えられていることへの感謝の気持ちを思い出し、前を向いて強い気持ちで進んで笑顔を見せず看護師を目指していきたくと思います。



最低賃金

『必ずチェック最低賃金!使用者も労働者も』

常用・臨時・パート・アルバイトなどの名称にかかわらず、福島県内の事業者で働く全ての労働者に適用されます。

最低賃金件名	最低賃金額(円) 1時間	効力発生日
福島県最低賃金 (下記の5産業を除く全産業)	657円	平成22年10月24日
産業別最低賃金	非鉄金属製造業	768円 平成22年12月18日
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	723円 平成22年12月24日
	輸送用機械器具製造業	757円 平成22年12月17日
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	756円 平成23年1月26日
	自動車小売業	753円 平成22年12月9日

(注) 実際に支払われる賃金から次の賃金を除外したものが最低賃金の対象となります。

- ①臨時に支払われる賃金 (結婚手当など)
- ②1ヶ月を超える期間ごとに支払われている賃金 (賞与) など
- ③所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金 (時間外割増賃金など)
- ④所定労働日以外の労働に対して支払われる賃金 (休日割増賃金など)
- ⑤午後10時から午前5時までの間の労働に対して支払われる賃金のうち、通常の労働時間の賃金の計算額を超える部分 (深夜割増賃金など)
- ⑥精皆勤手当、通勤手当及び家族手当
※産業別最低賃金の一部に適用除外業種や業務があります。

【お問い合わせ先】 福島労働局賃金室 (☎024-536-4604) 又は最寄りの労働基準監督署にご照会ください。

選挙

20歳になったら選挙に行こう

なるほど! 選挙

私たちは、20歳になると、みんなの代表を選挙で選ぶことのできる権利が与えられます。これが「選挙権」。そして、その後ある年齢になると、今度は選挙に出てみんなの代表になる資格ができます。これが「被選挙権」。

どちらも、私たちみんながよりよい社会づくりに参加できるように定められた大切な権利です。棄権しないで、自分の考えを選挙に反映させよう!!

◎**選挙権**は、私たちが国や地方公共団体の代表者を投票で選ぶことができる権利です。

その権利を持つには、次の要件が必要です。

- ①衆議院議員・参議院議員の選挙：日本国民で満20歳以上であること
※20年目の誕生日の前日の午前0時から満20歳とされます。
- ②知事・都道府県議会議員の選挙：日本国民で満20歳以上であり、引き続き3カ月以上その都道府県内の同一の市区町村に住所のある者
※上記の人が引き続き同一都道府県内の他の市区町村に住所を移した場合も含む。
- ③市区町村長・市区町村議会議員の選挙：日本国民で満20歳以上であり、引き続き3カ月以上その市区町村に住所のある者

◎**被選挙権**は、選挙により国会議員や地方公共団体の議員及び長につくことのできる資格です。

その資格を持つには、次の要件が必要です。

- ①衆議院議員：日本国民で満25歳以上である。
- ②参議院議員：日本国民で満30歳以上である。
- ③都道府県知事：日本国民で満30歳以上である。
- ④都道府県議会議員：日本国民で満30歳以上である。
- ⑤市区町村長：日本国民で満25歳以上である。
- ⑥市区町村議会議員：日本国民で満25歳以上である。



◀問い合わせ先▶ 村選挙管理委員会事務局 (役場総務課) ☎57-4621

年金

20歳になり職場の年金(厚生年金や共済組合)に加入していない方は、国民年金に加入します。

★20歳になったら忘れずに

国民年金の加入手続きをしましょう!

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがなどで重い障害が残ったりしたときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

国民年金は、国が責任をもって運営していますので、支給される年金の半分の額が国の税金から負担されるなど、とても有利で安心な制度です。

◆義務と権利

日本国内にお住まいの20歳から60歳になるまでのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があります。年金を受け取る権利があります。

◆加入の手続き

学生や自営業者などの方で、20歳になって第一号被保険者となる方は、お住まいの市区町村役場で直接、手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第一号被保険者の方や、その第二号被保険者に扶養される配偶者の第二号被保険者の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の

手続きは必要ありません。

◆保険料の猶予・免除

学生であるなど、収入が少ないうえに国民年金保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、老後の年金を受けられなかったり、年金額が低くなる恐れがあります。「万が一」のときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

また、学生以外の一般の自営業者の方などは、経済的な理由等により保険料の納付が困難なときに、ご本人の申請によって「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」を利用することもできます。

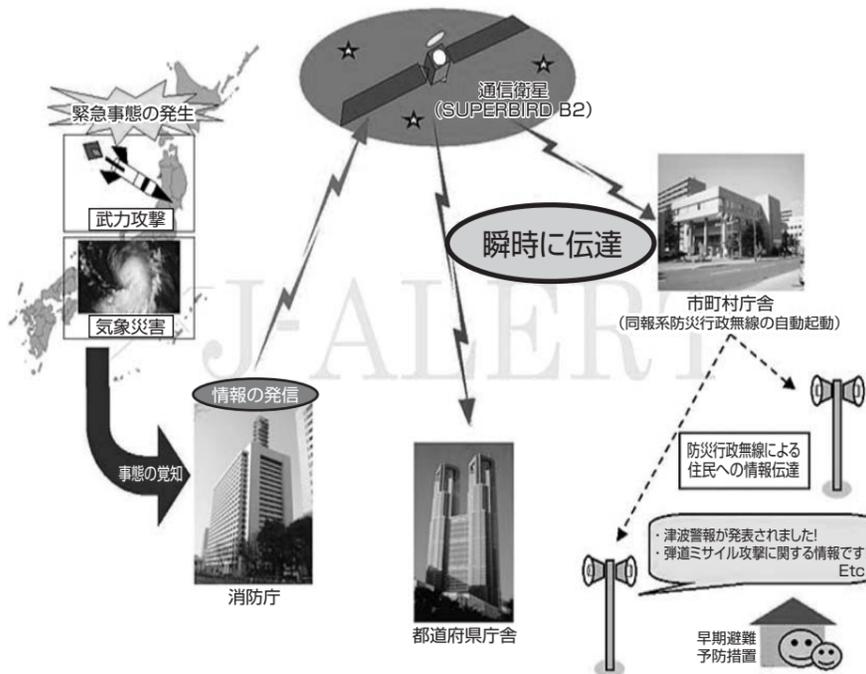
申請手続きなど詳しくは、日本年金機構 郡山年金事務所にお問合せください。
☎024-932-3434

防災

全国瞬時警報システム (J-ALERT) を2月14日から運用開始!

全国瞬時警報システムとは、総務省消防庁が得たゲリラ等による武力攻撃や大規模テロ攻撃の情報を衛星回線により瞬時に取得し、既存の防災行政無線により、村内全域にその内容を放送周知するものです。

また、緊急地震速報や火山噴火警報及び気象警報の情報も取得、瞬時放送が可能であり、今後必要な情報のみをお知らせいたします。





新年のあいさつをする石森村長

輝かしい新年の幕開けを祝う 平成23年玉川村新春互礼会

村と村商工会の主催による新春互礼会が1月4日、マーヴェラス末広で開かれました。
会場には、村の関係機関や議会、商工会、村内の企業などから105名が出席し、新年のあいさつや抱負などが語られ、新年の更なる飛躍を誓い合いました。
また、アトラクションとして蒜生の佐藤清子さんによる日本舞踊が披露されました。



村商工会の飯島副会長の発声で乾杯



日本舞踊を披露した佐藤清子さん(蒜生)

ストレスを発散して楽しくプレー 男女混合家庭バレーボール大会

職場や各地域単位の9チームが出場し、男女混成(男4名以内)チームによる第3回クックちゃん杯男女混合家庭バレーボール大会が、1月23日にたまかわ文化体育館で行われました。
当日は、選手や関係者など100人以上が参加し、熱戦を繰り広げました。
成績は次のとおりです。
○優勝：なかよしクラブ1号(中)
○準優勝：竜崎A(竜崎) ○3位：竜崎B(竜崎)



スーパープレーが続出した混合バレー



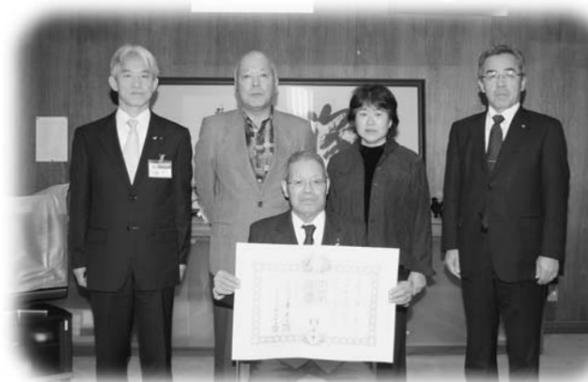
目録を手渡す鯨岡所長(中央)と村上所長(右)

“玉川村の防犯活動に協力します” 防犯灯器具・同無償取付工事を寄贈

東北電力(株)須賀川営業所(鯨岡晴枝所長)から自動点滅器付防犯灯15基、(株)ユアテック須賀川営業所(村上正広所長)からは、5基分の防犯灯無償取付工事が村に寄贈され、12月16日に役場村長室で贈呈式が行われました。
式では、鯨岡晴枝所長並びに村上正広所長から石森村長に、それぞれ目録が手渡されました。
寄贈された防犯灯は、今後各行政区からの要望により、随時取り付けする予定です。

藤田さん、旭日単光章受賞 高齢者叙勲伝達式

満88歳に到達された地方自治功労者に対し授与される高齢者叙勲で、旭日単光章を受けられた藤田金二さん(小高)への叙勲伝達式が12月22日、村役場正庁で行われ、県中地方振興局の小松局長より勲記と勲章が贈られました。
藤田さんは、これまで村議会議員(3期12年)、農業委員、村消防団長、保護司など数々の要職を歴任され、村民の福祉向上に貢献されました。



旭日単光章を受賞された藤田さん(前列中央)



統監の通常点検を受ける団員

今年の無事故無火災を誓う 玉川村消防団出初式

玉川村消防団(我妻徳雄団長)の平成23年出初式が1月9日、たまかわ文化体育館で行われ、消防団員や婦人消防隊員、来賓ら約250人が参加しました。
式では、統監の石森村長の訓示、観閲、通常点検などが行われ、各団員はキビキビした動きで臨み、これからの火災シーズンに備え、万全の体制をアピールしました。
出初式終了後には、各分団による防火パレードが行われました。

無病息災と五穀豊穡を願って! 小正月の伝統行事「やっちゃん小屋」

南須釜の南宿地区と山小屋地区で古くから伝わる小正月の伝統行事「やっちゃん小屋」が1月14日、それぞれ行われました。
やっちゃん小屋は、ワラや竹などで作った小屋といっしょに、しめ縄や正月飾りなどを燃やし、今年1年の無病息災と五穀豊穡を願う行事で、当日の午後7時に小屋に火が放たれると、暗闇に勢いよく炎が立ち昇り、詰め掛けた観衆から大きな歓声が上がりました。



赤々と夜空を焦がした南宿地内のやっちゃん小屋

自分の意見や考えを質問しました 村議会主催による小学生模擬議会

3月定例会議会開会を前に、一足早く1月18日に小学6年生による模擬議会が開かれました。
これは、昨年7月に開催した中学生模擬議会に続き、社会科授業の環境、村政への理解と関心を深めてもらうと、玉川村では初めての試みとして行われました。
村内各小学校の代表12名から石森村長に様々な質問が出され、ともしれば大人も見落とさずがちな点について関心の高い内容でした。



議場で堂々と一般質問を行う児童



すがま幼稚園小正月行事の団子さし作り(1月12日)より

お知らせ

Information

多重債務無料法律相談のご案内

多重債務でお悩みの方を対象に、弁護士または司法書士による無料の法律相談を実施していますので、ご利用ください。

▼相談日時

毎月第2・第4木曜日の午後1時～午後5時まで

▼相談場所

福島県消費生活センター
(福島市中町8・2)

▼相談時間

1人30分の予約制

※このほか、県中地方振興局、県南地方振興局、会津地方振興局において、毎月第4木曜日の午後1時から午後5時まで「多重債務」無料相談を実施しています。

▼問い合わせ先

福島県消費生活センター
(福島県庁消費生活課)
☎0245210999

NHK学園受講者募集中!

NHK学園には、趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。通信講座で新しい趣味・スキルを身につけてみませんか。無料の案内書をお気軽にご請求ください。(主な講座は、俳句、短歌、川柳書道、ペン字、写経、水彩画など)

▼受講期間

3か月～1年(講座によって異なります)

▼募集対象

一般(年齢はどの講座・コースについても制限はなし)

▼申込方法

ご請求により案内書をお届けし、電話やFAX、ホームページからお申込みいただけます。

▼受付期間

通年申込受付

▼お問い合わせ先

NHK学園 広報・学習センター
☎042157213151

- 総務課 57-4621
- 住民税務課 57-4622
- 健康福祉課 57-4623
- 保健センター 37-1024
- 会計室 57-4625
- 地域整備課 57-4626
- 企画産業課 57-4627
- 農業委員会 57-4628
- 議会事務局 57-4630
- 教育委員会 57-4633
- 公民館(文化体育館) 57-4632
- 須釜支所 57-2061

地デジ難視対策衛星放送の利用について

平成27年3月末までに限定された放送
視聴できる番組
NHK及び地域民放と同系列の東京の放送局の番組(福島県内の民放放送は、視聴できません)

▼視聴できる受信機

ひとつの世帯で視聴できる受信機の数3台まで

▼費用負担

利用料等の負担費用はありません。

ただし、NHKとの放送受信契約が必要となります。

▼申込方法

対象世帯に地デジ難視対策衛星放送受付センターの職員が戸別に訪問して説明します。

▼お問い合わせ先

地デジ難視対策衛星放送受付センター
☎05700812200

健康福祉課だより



今年はいつもの10倍?! 花粉が大量飛散! 早め早めの... 花粉症対策 について

花粉症では予防以上に、症状が現れたらすぐに治療を始めることが肝心です。重症度に合わせた治療法で、少しでも症状を軽く抑えつらい季節を乗り切りましょう。

■初期療法開始の目安は小さな自覚症状

- ①目・鼻・耳などの小さな自覚症状(違和感、少しのかゆみ、涙が出る)が開始の合図。
- ②住んでいる地域で花粉が飛び始めたという情報が開始の合図になることも。

■初期療法のリット(花粉症治療には「耳鼻咽喉科」をお勧めします)

- ①ピーク時の症状を軽減する
- ②発症の時期を遅らせる
- ③症状の終了を早める

■薬物療法は『飲み薬』と『点鼻・点眼薬』で行います。

花粉症とはいってもその症状は十人十色。個々の症状に合わせて医師が処方します。



※アレルギー治療にはステロイドが用いられることが多くあります。
※作用・副作用の両面から医師に相談し、経過には注意が必要です。

文芸

literature

さるなし俳句会初句会吟詠

初日影解れて筆に絡まれり 仁
 緞帳を揚げるが如き初御空 由記
 和尚さんと物売りと来し四日かな 真知
 侍せを積みしばかりの初暦 今朝
 三ケ日過ぎてて玻璃戸に指の跡 公
 鰐口のにぶき余韻に年明くる 美枝
 畳みたる夜着や我が子の香を残し 仁美

短歌詠草集

香を焚くその傍らに惹きみ育てし花の一輪を供う 吉田ハツ子
 折り紙と塗り絵持参で訪れる友は変わらぬ親しみ見せて 小針ミサ
 オレンジ色の誘導塔に鷹の来り光り翼に今降りんとす 草野ケサ子
 この年の行く末案じ繰る玉の光は宿す七色のかげ 大木 淑子
 夢に見し友との再会果たす今青春の日にタイムスリップ 芳賀多美子
 入院し二時間余りの点滴に覚ゆる生の尊き光を 小豆畑茂登
 あどけなき仕草にあれど幼子の無心の境の元気を貰う 板橋 幸恵
 香りよき茸ご飯を炊く朝は誰の顔にも明るさ戻す 須藤 洋子
 晴れやかな舞台に心映しつつ見れば若さに還りいる友 一平 子
 幾曲り登れば辿りつくのやら人という字に光りいる寺

お誕生おめでとうございます

(12月17日から1月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
川 辺	矢 部 柚 月	博
小 高	車 田 里 緒	裕 器
〃	溝 井 翔 馬	和 正
南須釜	須 藤 優 乃	竜 也

おくやみ申し上げます

(12月17日から1月届出分)

地区名	死 亡 者	世帯主名
中	松 本 昇 慈	月田秀夫
〃	渡 部 喜代子	喜代子
岩法寺	大 竹 信 雄	義 明
〃	大 竹 長 一	長 一
〃	佐久間 倉 太	倉 太
〃	瀬 谷 邦 三	邦 三
竜 崎	上 野 サ ミ	文 吉
北須釜	榊 枝 徳 榮	正 夫
〃	佐久間 ア サ	安 裕
山小屋	石 森 良 三	良 三
四辻新田	塩 田 タキヨ	豊 彦

寄付ありがとうございます

次の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(村社会福祉協議会：12月17日から1月届出分)

中	月 田 秀 夫 様
岩法寺	大 竹 義 明 様
〃	佐久間 倉 光 様
〃	瀬 谷 邦 夫 様
竜 崎	上 野 文 吉 様
北須釜	榊 枝 正 夫 様
〃	佐久間 安 裕 様
山小屋	石 森 真 吾 様
四辻新田	塩 田 征 二 郎 様
〃	塩 田 豊 彦 様

2月1日現在の村のようす

(前月比)

世帯数	2,022 戸	(+ 2戸)
人口	7,207 人	(+ 2人)
男	3,559 人	(- 3人)
女	3,648 人	(+ 5人)



泉保育所豆まき会(2月3日)より



～小学生模擬議会(1月18日)より～

あぶくま高原道路全線開通記念植樹

～どんぐり苗を無料で配布します～

あぶくま高原道路は、東北道の矢吹インターチェンジと磐越道の小野インターチェンジを結ぶ延長35.9kmの自動車専用道路です。

これまで、あぶくま高原道路に自然の森をよみがえらせるという道路緑化活動として、「どんぐり作戦」を平成14年からスタート。どんぐりを拾い集めてポットで育て、道路沿線やインターチェンジ周辺などに苗の植え込みを行ってきました。現在も苗の草取りや水まきを行い、大切に育てています。

このたび、あぶくま高原道路が平成22年度に全線開通することを記念し、ご自宅で植樹し育ててくれる方に無料でどんぐり苗をお譲りします。

苗の配布は1人1本で、数・種類に限りがあり先着順で、引渡しは平田村の同事務所となります。

【申込先】福島県あぶくま高原自動車道建設事務所
平田村大字蓬田新田字金屋27-1
☎0247-55-3546

ふるさと玉川村を応援いただき ありがとうございました

「元気なたまかわ ふるさと応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた寄附は、一度基金に積み立て、お選びいただいた事業の実施に活用させていただきます。今後とも、ふるさと玉川村を想う多くの皆様の応援を心よりお待ちしております。

『元気なたまかわ ふるさと応援寄附金』寄附の状況

◆寄附の状況(平成22年12月末現在)

事業の種類	件数	金額
1 地域の振興に関する事業	6件	710,000円
2 教育の振興に関する事業	2件	11,000円
3 人材育成・子育て支援に関する事業	4件	25,000円
4 住民福祉の向上に関する事業	3件	230,000円
合 計	15件	976,000円

◆寄附者一覧(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

寄附年月日	お名前	ご住所	寄附金額
H22.11.22	匿名	非公表	非公表
H22.12.9	匿名	千葉県	非公表
H22.12.22	匿名	非公表	5,000円
合 計		3名	

累 計	15名	976,000円
-----	-----	----------

年 金

国民年金の被保険者について

国民年金の被保険者の種別は職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きや保険料の納付方法が違います。**結婚や就職、転職、退職などで加入するグループが変わったときは、2週間以内(第2号被保険者になった場合は、勤務先の事業主が5日以内)に手続きをすることが必要です。**

会社にて厚生年金に加入されていた方が、退職された場合には、ご本人様のお住まいの市区町村役場の国民年金担当窓口にて加入の手続きを行っていただくことになります。

その場合、退職された日の翌日から国民年金に加入されることになり、加入された日の属する月分から保険料を納付していただくことになります。

ただし、同一の月に2回以上年金制度を変更された場合には、その月の月末に加入されていた年金制度の保険料を納付していただくことになります。

	どんな人が?	加入の届出は?	保険料の納付は?
第1号被保険者	・学生 ・自営業者 等	ご自身で市区役所・町村役場へ届出	ご自身で納付
第2号被保険者	・会社員 ・公務員 等	勤務先が届出	勤務先で納付
第3号被保険者	第2号被保険者の被扶養配偶者	配偶者の勤務先へ届出	なし(配偶者が加入する制度が負担)

★日本国内に居住する20歳から60歳までの方は、国民年金の被保険者です

◆詳しくは、日本年金機構郡山年金事務所 ☎024-932-3434 までお問い合わせください。

12月20日に矢吹重美さん(北須釜)が役場を訪れ、本庁舎正面玄関に矢吹さん手作りの門松が立てられ、無事正月を迎えることができました。

1月14日には、国井初代さん(南須釜)から手縫いのぞうきん100枚が村に寄贈されました。大切に使用させていただきます。



村に門松を提供した矢吹さん(中央)



手縫いのぞうきんを寄贈した国井さん

お二人の善意に感謝します

月	火	水	木	金	土	日
※スポーツサロン グラウンド、テニスコート、すぱーく、文化体育館の 会員開放日です。 (非会員は氏名記入有り) この機会にぜひ、 スポーツに親しま ましょう。	1 (元)バドミントン (19:00文体)	2 窓口延長 転倒骨折予防教室 (9:30保セ)	3 (元)ラージボール卓球 (9:30文体)	4 (元)3Bたいそう (9:30文体)	5	6 (休医)味原医院 (玉川村)
	燃えるゴミ	資源ゴミ:東部 不燃ゴミ:西部		燃えるゴミ		
7	8 すくすくクラブ (10:00保セ) (元)バドミントン (19:00文体)	9 窓口延長 転倒骨折予防教室 (9:30保セ)	10 (元)ラージボール卓球 (9:30文体)	11 6~7か月児相談会 (10:00保セ) 1歳児相談会 (13:00保セ) (元)プール教室 (13:00プール) 村内中学校卒業式	12 (元)スポーツサロン (13:00文体外)	13 (休医)角田内科医院 (浅川町)
	燃えるゴミ	資源ゴミ:西部 不燃ゴミ:東部		燃えるゴミ		
14	15 いきいき教室 (11:00保セ) (元)バドミントン (19:00文体)	16 窓口延長 転倒骨折予防教室 (9:30保セ) 3~4か月児健診 (13:30公立岩瀬病院)	17 (元)ラージボール卓球 (9:30文体)	18 (元)3Bたいそう (9:30文体) 村内幼稚園卒園式	19	20 (休医)ひらた中央病院 (平田村)
	燃えるゴミ	資源ゴミ:東部 不燃ゴミ:西部		燃えるゴミ		
21 (休医)添田医院 (平田村)	22 (元)バドミントン (19:00文体)	23 窓口延長 転倒骨折予防教室 (9:30保セ) 村内小学校卒業式	24 (元)ラージボール卓球 (9:30文体)	25 (元)プール教室 (13:00プール)	26 (元)グラウンドゴルフ大会 (8:00村グ) 親子生け花教室 (10:00クラブ) (元)スポーツサロン (13:00文体外)	27 (休医)ひらた中央病院 (平田村)
	燃えるゴミ	資源ゴミ:西部 不燃ゴミ:東部		燃えるゴミ		
28	29 (元)バドミントン (19:00文体)	30 窓口延長 転倒骨折予防教室 (9:30保セ)	31 (元)ラージボール卓球 (9:30文体)	※母子手帳交付日 (毎週水曜日) 保健センター ☎37-1024	○(休医)・休日当番医 ○(元)・元気スポーツクラブ ○文体・文化体育館 ○クラブ・文化体育館クラブハウス ○保セ・保健センター ○文庫・クックちゃん文庫 ○村グ・村民グラウンド ○就改・就業改善センター ○須公・須釜公民館	
	燃えるゴミ	資源ゴミ:東部 不燃ゴミ:西部				



真剣な表情で飾りつけをするすがま幼稚園児

空港公園がより華やかに!

すがま幼稚園児の小正月「団子さし」づくり

(財)福島県都市公園・緑化協会主催による小正月行事「団子さし」づくりが1月12日、福島空港エアフロントエリア管理棟で行われ、すがま幼稚園の児童25名が参加しました。

園児たちがきれいに飾りつけをした団子さしは、1月末まで管理棟に飾られ、公園を訪れる人々の目を楽しませました。

広報紙に掲載された写真が欲しい方は
総務課広報広聴係(57-4621)まで

この広報紙は適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙を使っています。
FSC認証紙は、適切に管理された森林の木材を原料としており、バランスの取れた
「植林→育成→伐採→植林」のサイクルを通じて森林保全を行っています。

